



スプリントを導入します

スプリント (sprint) とは

アジャイル開発のひとつであるスクラム開発の基準となる考え方です。

スプリントは日本語で「**短距離走**」「**全力疾走**」という意味があり、スクラム開発では、細切れにして開発を行うことを示します。

スプリントでは

1週間から2週間を基準に「タイムボックス」という期間を構築し、そのタイムボックスごとに仕様設計や開発、リリースを行います。



SHDでのスプリントスケジュール

四半期（1Q, 2Q, 3Q, 4Q）ごとに

設計 **開発** **報告** の3つのフェーズで進めていきます。

ハックデーの日程以外にも、同期・非同期で開発を進めてOKです！



SHDでのスプリントスケジュール

報告 のフェーズのみ、リアル会場での開催とさせていただきます

設計 **開発** のフェーズは、オンライン（Zoom）での開催となります。

8月17,18日 パシフィコ横浜にて Facing the Ocean (FtO) 開催予定!



SHDでのスプリント

フェーズ1

設計

3ヶ月計画・仲間集め

フェーズ2


開発

ユーザーテストなど

フェーズ3

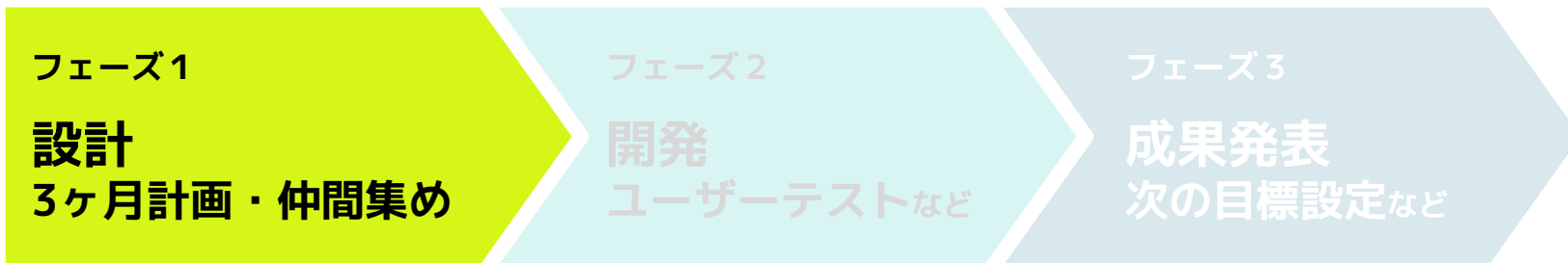
成果発表

次の目標設定など

これまで通りのジョギング気分で 

スプリントスケジュールには合わせず、開発を進めてもOK！

SHDでのスプリント



Notionのテンプレートを活用して
3ヶ月の計画を立てましょう！

何にフォーカスをするのが大切です

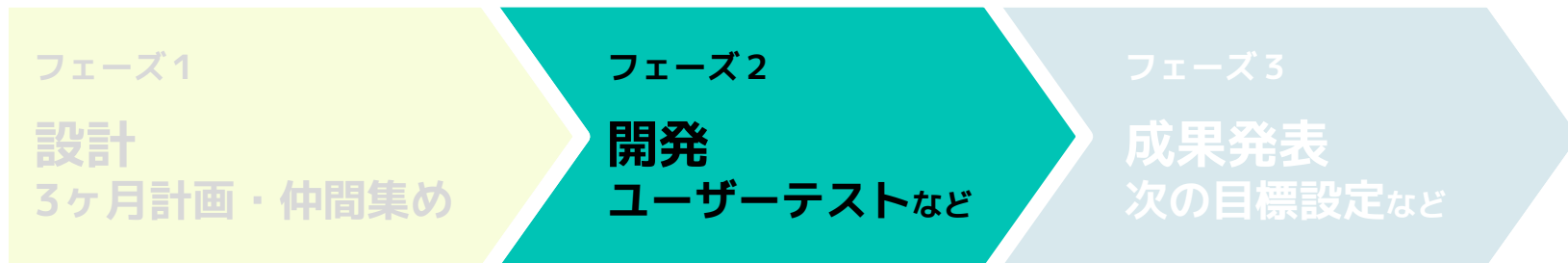
Notionテンプレートは、後ほど共有します

テンプレートが完成したら仲間を集めます

CfJ Slackや、興味関心のある人が
参加しているコミュニティで周知

関連イベントなど、直接会った人に紹介

SHDでのスプリント



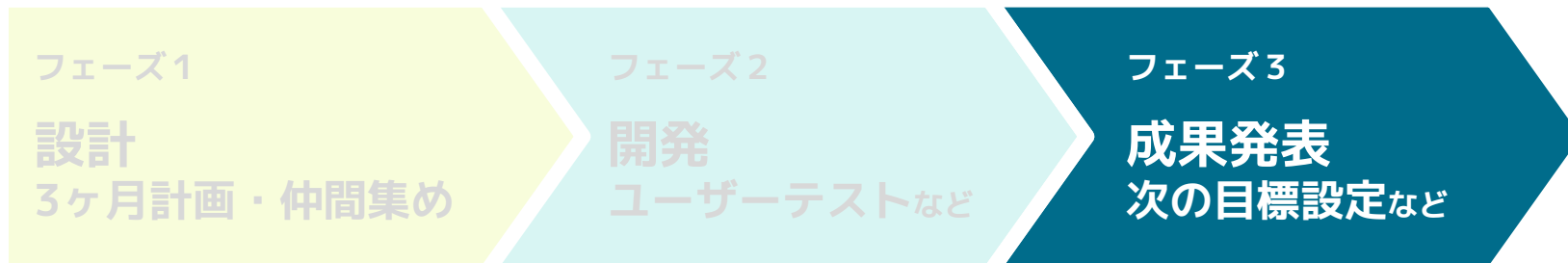
開発や打ち合わせのペースを決めて
開発を進めましょう！

ユーザーテストを実施し
コアユーザー（ファン）を作りましょう！

小さい機能でも完成したら発信していく！
（CfJのSlackや個人のSNSなど）

反応の10倍は実際に見ているので
表にアウトプットすることが重要！！

SHDでのスプリント



これまで作ってきた成果と
次のスプリントでの目標を発表する

3ヶ月ごとのゴールではないので
次のスプリントに続けることが大切

発表して得られたフィードバックは
次に活かしていきましょう！

3ヶ月の進め方を振り返り
次回の進め方を考える

4月からトライアル実施するプロジェクト



 Hackdays

Social Hack Day に参加する人たちの貢献量を可視化
参加を証明するNFTが発行できるサービス「MintRally」の開発・運用



 Code for SAKE

日本酒の発酵技術や酒蔵を支えたい
みんなでつくる日本酒オープンデータですakepediaの開発、データの収集など



 オープンデータ DataOps

オープンデータの提供者と利用者との間の課題感をどのように解消し、オープンデータの利活用を促進するか検証や議論し探求



新規 ボタン横の
▼ 下向き矢印を押して
スプリント計画テンプレ
を選択

スプリントを計画する場合は
テンプレを活用してください

